様式第8号（第14条の4関係）　（表面）

児童手当・特例給付　認定請求書

記入例（R4.6.1～）

＜請求者＞
父母のうち
所得の高い方が請求者になります。
（審査後、請求者変更を依頼する場合があります）

＜請求者の職業＞＜配偶者の職業＞
ア～ウの該当するものに○
ア：厚生年金等加入者
（国民年金以外も加入していればア）
イ：公務員（配偶者が公務員の場合○し、勤務先を記入）
例・△市、△小学校、△病院
ウ：国民年金のみ加入者

※受付場所　本課
提出年月日　令和　提・出・日

請求者

①（ふりがな）	ミマ　タロウ
氏名（法人名等）	美馬　太郎
⑥住所（法人の主たる事務所の所在地）	〒○○○　－　○○○○　請求者の住所（美馬市から）
1月1日時点の住所（1～5月分は前年、6～12月分は本年）	（上欄と異なる場合に記入してください）　請求者の1月1日時点の住所（⑥と同じなら同上）
電話	連絡の（つきやすい）電話番号
生年月日	明治・大正　昭和・平成　○○・○・○
④職業	ア．被用者　イ．公務員　ウ．被用者等でない者
⑤配偶者の有無	有・無
⑦個人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2
⑧支払希望金融機関	名称：銀行・金庫・信組・農協・漁協　○○　支店名：○○支店　支店コード（3ケタ）：7 8 9
口座番号	1 2 3 4 5 6 7
口座名義	請求者名　ミマ　タロウ

配偶者等

⑨（ふりがな）	ミマ　カズコ
氏名	美馬　和子
生年月日	明治・大正　昭和・平成　○・○・○
⑩職業	ア．被用者　イ．公務員（勤務先：○○役場　）　ウ．被用者等でない者
⑫個人番号	1 2 3 4 5
⑪住所（⑥と異なる場合）	同居：同上 別居：××県××市××１番地　××マンション×号室 配偶者の1月1日時点の住所（⑪と同じなら同上）

＜生計関係＞
・請求者の実子（養子縁組含む）
：「同一」に○
・請求者の実子でない
：「維持」に○

⑬児童

氏名	続柄	生年月日	同居・別居の別	海外留学をしている場合の出国年月	住所		
美馬　一郎	子	平成・令和　○・○・○	同・別	平成令和　年　月	同上	有・無	同一・維持
美馬　二郎	子	平成・令和　○・○・○	同・別	平成令和　年　月	××県××市××１番地　××マンション×号室	有・無	同一・維持
美馬　三郎	妻の子	平成・令和　○・○・○	同・別	平成令和　年　月	同上	有・無	同一・維持
高校３年終了までの子どもを記入		平成・令和　・・・				有・無	同一・維持

＜続柄＞
請求者から見た続柄
・請求者の実子：「子」
・請求者と**養子縁組している**：「子」
・請求者の実子でない
：「夫の子」「妻の子」「子の子（孫）」

＜監護の有無＞
「父と母で児童の面倒をみているか？」
見ている→「有」に○
見ていない、「無」に○がついた場合は支給対象となりません。

⑭請求者の加入している公的年金制度の種別
ア．厚生年金保険
※以下の共済組合の組合員である場合は括弧内に○をしてください。
（　）私立学校教職員共済
（　）国家公務員共済
（　）地方公務員等共済

＜加入している年金等＞
請求者が現在加入している年金の種類に ○ をする。

令和　年分所得の合計額　（配偶者）　円
うち児童手当法施行令第３条第１項による控除
給与所得/公的年金等所得を有する場合の控除額（上限100,000円）
（一律控除額）
雑損控除額　医療費控除

児童手当の申請には児童の保険証は不要。また、不足書類の後日提出や口座等の後日記入も可能です。
お早めに申請してください。※申請が遅れると、手当の支給開始が遅れる場合があります※

【添付書類・全員提出】
・**請求者（保護者）の**健康保険証の写し
・請求者（保護者）名義の通帳またはキャッシュカードの写し
※通帳は金融機関名・支店名・口座番号・名義人（カナ）が記載されている部分の写し

【添付書類・該当者のみ提出】
・転入した請求者：所得課税証明書
・転入した配偶者：所得課税証明書
（控除対象配偶者になっている場合は不要）
※個人番号の提供があり、必要事項が正確に記入されている場合には、所得課税証明書が省略可能です。

・請求者と児童の住所が別：別居監護申立書（児童個人番号が必要）
・児童の住所が美馬市外：住民票謄本（世帯全員分・省略のないもの）
※個人番号の提供があり、必要事項が正確に記入されている場合には、住民票謄本が省略可能です。
・請求者の実子でない：監護・生計維持申立書

【受付時に提示するもの】　①または②のいずれか
①請求者（保護者）の個人番号カード
②通知カードまたは個人番号記載の住民票謄本
＋顔写真付身分証明書